

2020年12月2日

ウェザーニューズ、都道府県ごとの花粉飛散時期とピークを発表
 スギ花粉は2月上旬に関東から飛散開始、ピークは2月下旬から
 ～飛散量は広範囲で2020年よりも多い予想、花粉症の症状悪化に注意を～

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区 代表取締役社長:草開千仁)は2021年の花粉シーズンに向け、「第二回花粉飛散傾向」(スギ・ヒノキ、北海道はシラカバ)を発表しました。

花粉の飛散開始時期に影響する2020年12月～2021年2月の気温は、全国的に概ね平年並になる予想です。このため、飛散開始時期は西日本・東日本で概ね平年並、1月以降気温が平年並からやや高い傾向になる見込みの北日本では平年並～やや早くなると予想しています。2月上旬に関東を中心に飛散が始まり、2月中旬には近畿や東海など西日本・東日本の広範囲で、2月下旬には北陸や東北南部、3月上旬には東北北部でも飛散が始まる予想です。西日本・東日本の飛散ピークは、スギ花粉が2月下旬～3月中旬、ヒノキ花粉が3月下旬～4月中旬の予想です。

飛散量は全国的に平年を下回る予想ですが、飛散量が少なかった2020年と比べると北海道と東北北部の一部を除いたほとんどの地域で多くなる予想です。2020年よりも花粉症の症状が悪化する方が多くなる可能性があるため、シーズン前からしっかりと対策を行ってください。

ポイント

1. 2月上旬に関東から花粉飛散開始、2月中旬に西日本・東日本の広範囲へ飛散エリアが拡大
2. スギ花粉の飛散ピークは2月下旬～3月中旬、ヒノキ花粉は3月下旬～4月中旬
3. 飛散量は平年の70%程度の予想も、少なかった2020年よりも多くなるため、花粉症の症状悪化に注意

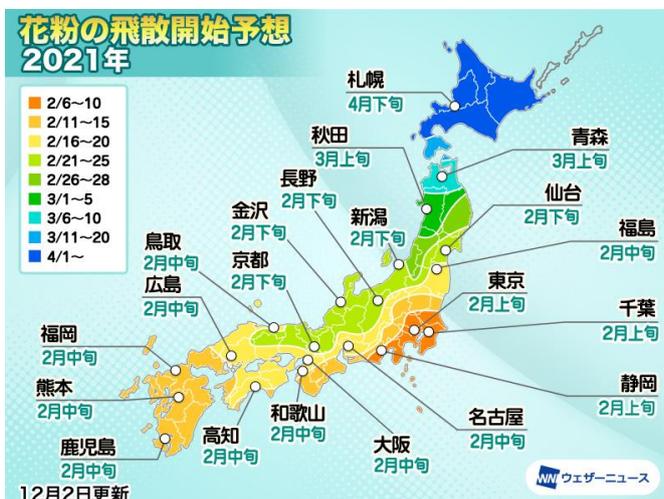
本プレスリリースの素材のダウンロード	「第二回花粉飛散傾向」の一般向けサイト
ウェブ版プレスリリース「第二回花粉飛散傾向」 https://jp.weathernews.com/news/33156/	ウェザーニューズウェブサイト「第二回花粉飛散傾向」 https://weathernews.jp/s/topics/202012/020135/

◆2021年「第二回花粉飛散傾向」

＜飛散開始時期:2月上旬に関東から花粉飛散開始、飛散時期は西日本・東日本で平年並＞

スギの雄花は冬の寒さを経験することで休眠から目覚め(休眠打破)、寒さがピークを過ぎて暖かくなると花粉を飛ばし始めます。このため、冬の適度な寒さと春の気温の上昇が飛散開始のタイミングを左右します。

花粉の飛散開始時期に影響する2020年12月～2021年2月の気温は、全国的には概ね平年並となる予想です。1月以降は西日本中心に平年並からやや低い傾向、北日本では平年並からやや高い傾向になる見込みで、2021年の花粉の飛散開始時期は西日本・東日本で概ね平年並、北日本では平年並～やや早くなると予想しています。



2月上旬には関東を中心に飛散が始まり、2月中旬には近畿や東海など西日本・東日本の広範囲で、2月下旬には北陸や東北南部、3月上旬には東北北部でも飛散が始まる予想です。

なお、詳細な飛散開始時期は1月下旬以降の気温動向に大きく左右されるため、随時最新の情報をご確認ください。

<飛散ピーク時期:スギ花粉は2月下旬~3月中旬、ヒノキ花粉は3月下旬~4月中旬>

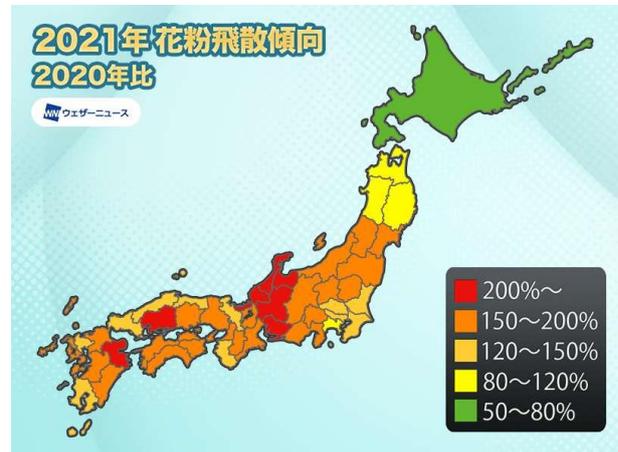
2月下旬~3月中旬にかけて西日本・東日本の広範囲でスギ花粉の飛散ピークを迎える予想です。東北の飛散ピークは3月上旬~4月中旬になるとみえています。3月後半に入るとスギ花粉の飛散は徐々に収まり、代わって西日本からヒノキ花粉の飛散が増えていきます。

ヒノキ花粉の飛散ピークは西日本・東日本の広範囲で3月下旬~4月中旬、北陸や東北南部では4月上旬~下旬とみえています。ただ、北陸や東北南部ではヒノキの樹木が少ないため、スギ花粉に比べると飛散量が少なくなる見込みです。

シラカバ花粉が飛散する北海道では道南・道央がゴールデンウィーク前後、道北・道東が5月中旬に飛散のピークを迎えるとみえています。



<予想飛散量:飛散量は広範囲で2020年よりも増加予想>



2021年のスギ・ヒノキの花粉飛散量は全国的に平年を下回る予想です。全国平均では平年の70%程度になるとみえています。飛散量が少なかった2020年と比べると花粉の飛散量は北海道と東北北部の一部を除いたほとんどの地域で多くなる予想で、2020年に比べて飛散量が2倍を大きく上回る地域もあります。一方、2020年の飛散量が多かった北海道のシラカバ花粉の飛散は控えめになりそうです。全国平均では2020年比で160%程度になる見込みです。

2020年より飛散量が増えて、花粉症の症状も悪化する方が多くなる可能性があります。一時的・局地的に大量の花粉が飛散することもあるので、しっかりと対策を行ってください。

◇雄花調査の結果:「昨年と同程度」が最多に

ウェザーニューズでは 2020 年の夏の天候や年毎の飛散量傾向、雄花調査の結果などを検証して、2021 年の花粉飛散量を予想しています。本発表では 2020 年 11 月 14 日～23 日にウェザーニュースアプリの利用者から寄せられたスギの“雄花リポート”を活用しています。雄花リポートを集計した結果、雄花が「昨年と同程度」という回答が最も多く、次いで「昨年より多い」「昨年より少ない」という回答も同程度寄せられました。

本発表では、雄花調査の回答や 2020 年までの花粉飛散量、気象条件を元に 2021 年の予想飛散量を更新しています。

静岡県富士宮市・2020 年 11 月 14 日
「例年と変わらないでしょうか…しっかり付いています(…)」

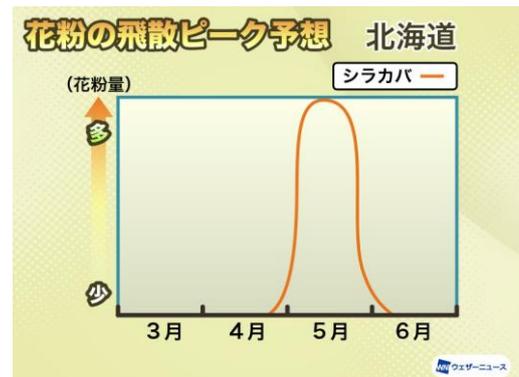


◆エリアごとの 2021 年花粉飛散傾向

北海道: 飛散開始は 4 月以降 飛散量は前年の半分程度

この冬の気温傾向は平年並か平年よりやや高くなる見込みです。断続的に寒気が流れ込んで休眠打破が適度に起こり、4 月以降、寒さが緩むタイミングでシラカバ花粉が飛び始めます。花粉の飛散開始時期は概ね平年並で道南など早い所では 4 月中旬、その他のエリアでは 4 月下旬から 5 月にかけてシラカバ花粉のシーズンに入るとみています。飛散ピークは道南や道央エリアでゴールデンウィーク前後、道北や道東では 5 月中旬で、6 月に入ると段々と飛散量は少なくなる見込みです。

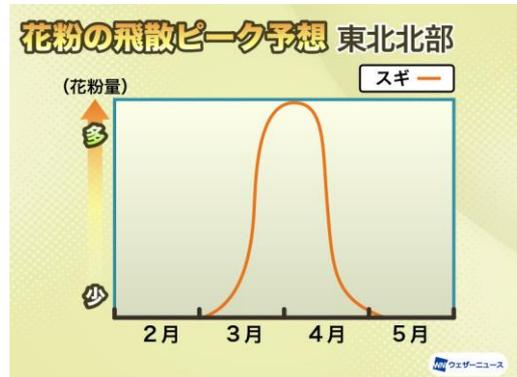
2021 年シーズンのシラカバ花粉の飛散量は平年の 69%、2020 年シーズンの 50%となる予想です。飛散量は少なくとも一時的・局地的に大量の花粉が飛散することがあるので、油断せずにしっかりと対策を行ってください。



東北北部：飛散開始は 2 月下旬から 飛散量は前年並～やや多い予想

この冬の気温傾向は平年並か平年よりやや高くなる見込みです。断続的に寒気が流れ込んで休眠打破が適度に起こり、寒さが緩むタイミングでスギ花粉が飛び始めます。花粉の飛散開始時期は概ね平年並か平年よりやや早く、早ければ 2 月下旬にも太平洋側から花粉シーズンに入ると予想しています。飛散ピークは 3 月中旬～4 月中旬で、その後飛散量が段々と少なくなる見込みです。

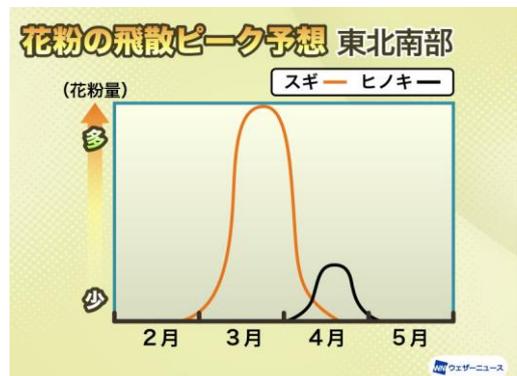
2021 年シーズンのスギ花粉の飛散量は平年の 79～83%、2020 年シーズンの 92～113%になる予想です。2020 年より飛散量が増えて、花粉症の症状も悪化する方が多くなる可能性があります。一時的・局地的に大量の花粉が飛散することもあるので、しっかりと対策を行ってください。なお、東北北部で春に多く飛散する花粉はスギ花粉で、ヒノキ花粉はほとんど飛散しません。



東北南部：飛散開始は 2 月中旬から 飛散量は前年よりも増加

この冬の気温傾向は平年並か平年よりやや高くなる見込みです。断続的に寒気が流れ込んで休眠打破が適度に起こり、寒さが緩むタイミングでスギ花粉が飛び始めます。花粉の飛散開始時期は概ね平年並か平年よりやや早く、早ければ 2 月中旬にも太平洋側から花粉シーズンに入ると予想しています。その後 3 月上旬～4 月上旬にスギ花粉、4 月中旬～下旬頃にヒノキ花粉の飛散ピークを迎える見込みです。

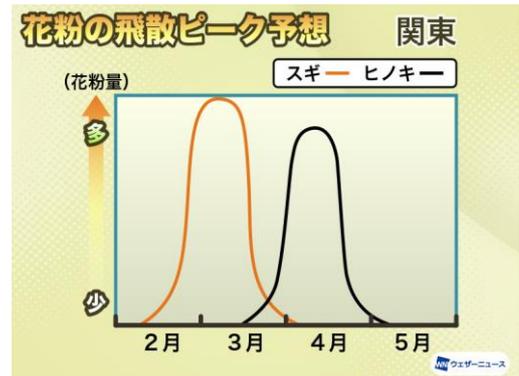
2021 年シーズンの花粉飛散量は平年の 53～73%、2020 年シーズンの 156～183%になる予想です。2020 年より飛散量が増えて、花粉症の症状も悪化する方が多くなる可能性があります。一時的・局地的に大量の花粉が飛散することもあるので、しっかりと対策を行ってください。なお、東北南部で春に飛散する花粉はスギがメインで、ヒノキ花粉は少ない傾向にあります。



関東:飛散開始は2月上旬 飛散量は前年よりも増加

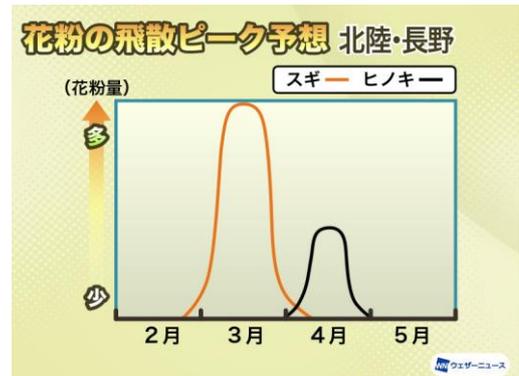
この冬の気温傾向は概ね平年並となる見込みです。断続的に寒気が流れ込んで休眠打破が適度に起こり、寒さが緩むタイミングでスギ花粉が飛び始めます。花粉の飛散開始時期も概ね平年並で2月上旬と予想しています。その後2月下旬～3月下旬にスギ花粉、3月下旬～4月下旬にヒノキ花粉の飛散ピークを迎える見込みです。

2021年シーズンの花粉飛散量は平年の50～57%、2020年シーズンの119～174%になる予想です。2020年より飛散量が増えて、花粉症の症状も悪化する方が多くなる可能性があります。一時的・局地的に大量の花粉が飛散することもあるので、しっかりと対策を行ってください。


北陸・長野:飛散開始は2月下旬 飛散量は前年比で大幅増

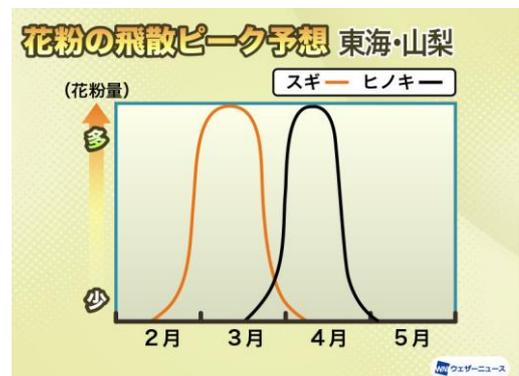
この冬の気温傾向は概ね平年並となる見込みです。断続的に寒気が流れ込んで休眠打破が適度に起こり、寒さが緩むタイミングでスギ花粉が飛び始めます。花粉の飛散開始時期も概ね平年並で2月下旬と予想しています。その後3月上旬～下旬にスギ花粉、4月上旬～下旬にヒノキ花粉の飛散ピークを迎える見込みです。

2021年シーズンの花粉飛散量は平年の50～81%、2020年シーズンの191～245%になる予想です。2020年より飛散量が大幅に増えて、花粉症の症状も悪化する方が多くなる可能性があります。一時的・局地的に大量の花粉が飛散することもあるので、しっかりと対策を行ってください。なお、北陸で春に飛散する花粉はスギがメインで、ヒノキ花粉は少ない傾向にあります。


東海・山梨:飛散開始は2月中旬 飛散量は前年比で大幅増

この冬の気温傾向は概ね平年並となる見込みです。断続的に寒気が流れ込んで休眠打破が適度に起こり、寒さが緩むタイミングでスギ花粉が飛び始めます。花粉の飛散開始時期も概ね平年並で、静岡県など早いエリアでは2月上旬、愛知県などでは2月中旬と予想しています。その後2月下旬～3月下旬にスギ花粉、3月末頃～4月下旬にヒノキ花粉の飛散ピークを迎える見込みです。

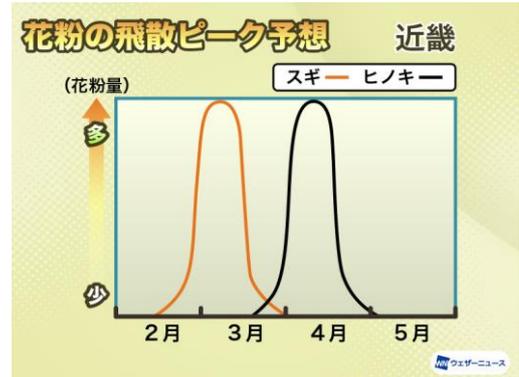
2021年シーズンの花粉飛散量は平年の52～88%、2020年シーズンの161～262%になる予想です。2020年より飛散量が大幅に増えて、花粉症の症状も悪化する方が多くなる可能性があります。一時的・局地的に大量の花粉が飛散することもあるので、しっかりと対策を行ってください。



近畿:飛散開始は2月中旬 飛散量は前年よりも増加

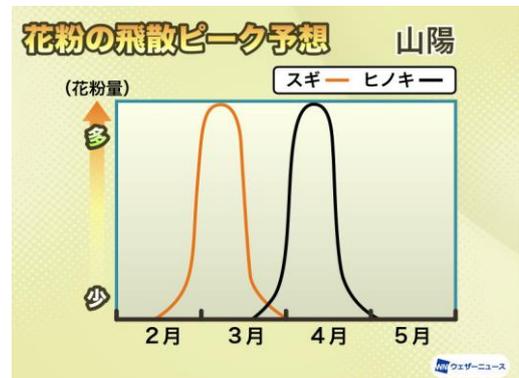
この冬の気温傾向は平年並か平年よりやや低くなる見込みです。断続的に寒気が流れ込んで休眠打破が適度に起こり、寒さが緩むタイミングでスギ花粉が飛び始めます。花粉の飛散開始時期は概ね平年並で2月中旬～下旬と予想しています。その後2月下旬～3月中旬にスギ花粉、3月下旬～4月中旬にヒノキ花粉の飛散ピークを迎える見込みです。

2021年シーズンの花粉飛散量は平年の63～93%、2020年シーズンの131～186%になる予想です。2020年より飛散量が増えて、花粉症の症状も悪化する方が多くなる可能性があります。一時的・局地的に大量の花粉が飛散することもあるので、しっかりと対策を行ってください。


山陽:飛散開始は2月中旬 飛散量は前年比で大幅増

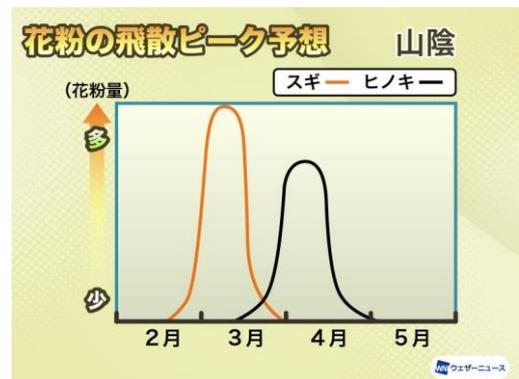
この冬の気温傾向は平年並か平年よりやや低くなる見込みです。断続的に寒気が流れ込んで休眠打破が適度に起こり、寒さが緩むタイミングでスギ花粉が飛び始めます。花粉の飛散開始時期は概ね平年並で2月中旬と予想しています。2月下旬～3月中旬にスギ花粉、3月下旬～4月中旬にヒノキ花粉の飛散ピークを迎える見込みです。

2021年シーズンの花粉飛散量は平年の81～84%、2020年シーズンの144～227%になる予想です。2020年より飛散量が大幅に増えて、花粉症の症状も悪化する方が多くなる可能性があります。一時的・局地的に大量の花粉が飛散することもあるので、しっかりと対策を行ってください。


山陰:飛散開始は2月中旬 飛散量は前年よりも増加

この冬の気温傾向は平年並か平年よりやや低くなる見込みです。断続的に寒気が流れ込んで休眠打破が適度に起こり、寒さが緩むタイミングでスギ花粉が飛び始めます。花粉の飛散開始時期は概ね平年並で2月中旬と予想しています。2月下旬～3月中旬にスギ花粉、3月下旬～4月中旬にヒノキ花粉の飛散ピークを迎える見込みです。

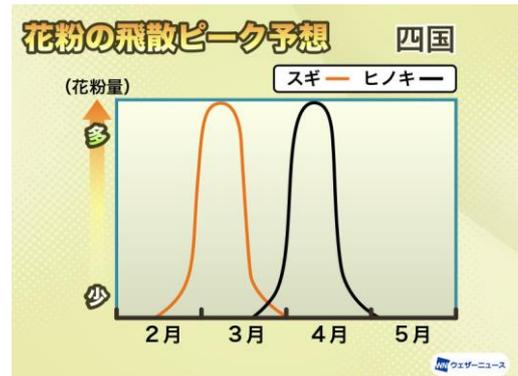
2021年シーズンの花粉飛散量は平年の67～70%、2020年シーズンの124～137%になる予想です。2020年より飛散量が増えて、花粉症の症状も悪化する方が多くなる可能性があります。一時的・局地的に大量の花粉が飛散することもあるので、しっかりと対策を行ってください。



四国:飛散開始は2月中旬 飛散量は前年よりも増加

この冬の気温傾向は平年並か平年よりやや低くなる見込みです。断続的に寒気が流れ込んで休眠打破が適度に起こり、寒さが緩むタイミングでスギ花粉が飛び始めます。花粉の飛散開始時期は概ね平年並で2月中旬と予想しています。その後2月下旬～3月中旬にスギ花粉、3月下旬～4月中旬にヒノキ花粉の飛散ピークを迎える見込みです。

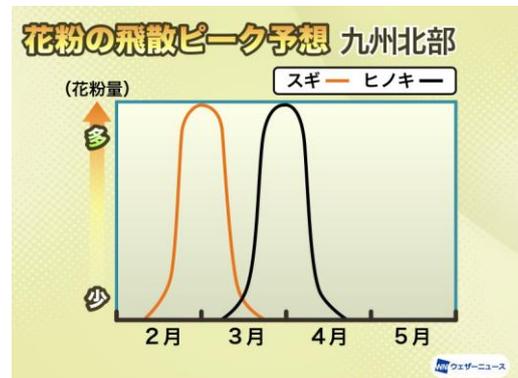
2021年シーズンの花粉飛散量は平年の83～96%、2020年シーズンの179～197%になる予想です。2020年より飛散量が増えて、花粉症の症状も悪化する方が多くなる可能性があります。一時的・局地的に大量の花粉が飛散することもあるので、しっかりと対策を行ってください。



九州北部:飛散開始は2月中旬 飛散量は前年比で大幅増

この冬の気温傾向は平年並か平年よりやや低くなる見込みです。断続的に寒気が流れ込んで休眠打破が適度に起こり、寒さが緩むタイミングでスギ花粉が飛び始めます。花粉の飛散開始時期は概ね平年並～やや遅く、2月中旬と予想しています。その後2月下旬～3月中旬にスギ花粉、3月中旬～4月中旬にヒノキ花粉の飛散ピークを迎える見込みです。

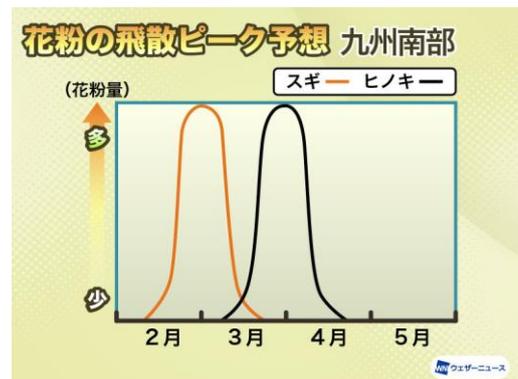
2021年シーズンの花粉飛散量は平年の80～97%、2020年シーズンの149～221%になる予想です。2020年より飛散量が大幅に増えて、花粉症の症状も悪化する方が多くなる可能性があります。一時的・局地的に大量の花粉が飛散することもあるので、しっかりと対策を行ってください。



九州南部:飛散開始は2月中旬 飛散量は前年よりも増加

この冬の気温傾向は平年並か平年よりやや低くなる見込みです。断続的に寒気が流れ込んで休眠打破が適度に起こり、寒さが緩むタイミングでスギ花粉が飛び始めます。花粉の飛散開始時期は概ね平年並で2月中旬と予想しています。その後2月下旬～3月中旬にスギ花粉、3月中旬～4月中旬にヒノキ花粉の飛散ピークを迎える見込みです。

2021年シーズンの花粉飛散量は平年の98～99%、2020年シーズンの134～167%になる予想です。2020年より飛散量が増えて、花粉症の症状も悪化する方が多くなる可能性があります。一時的・局地的に大量の花粉が飛散することもあるので、しっかりと対策を行ってください。



◆都道府県ごとの 2021 年花粉飛散傾向

エリア	都道府県	花粉飛散量 (2020年比:%)	花粉飛散量 (平年比:%)	花粉シーズンイン予想	花粉シーズンアウト予想
北海道 (シラカバ)	北海道	50%	69%	4月下旬	6月上旬
東北北部	青森県	92%	79%	3月上旬	5月上旬
	岩手県	113%	83%	2月下旬	5月上旬
	秋田県	112%	80%	3月上旬	5月上旬
東北南部	宮城県	156%	73%	2月下旬	5月上旬
	山形県	161%	68%	2月下旬	5月上旬
	福島県	183%	53%	2月中旬	5月上旬
関東	茨城県	136%	52%	2月上旬	5月上旬
	栃木県	174%	50%	2月中旬	5月上旬
	群馬県	150%	52%	2月中旬	5月上旬
	埼玉県	143%	57%	2月上旬	5月上旬
	千葉県	121%	56%	2月上旬	5月上旬
	東京都	120%	52%	2月上旬	5月上旬
	神奈川県	119%	55%	2月上旬	5月上旬
北陸・長野	新潟県	191%	72%	2月下旬	5月上旬
	富山県	209%	75%	2月下旬	5月上旬
	石川県	245%	81%	2月下旬	5月上旬
	福井県	214%	73%	2月下旬	5月上旬
	長野県	197%	50%	2月下旬	5月中旬
東海・山梨	山梨県	193%	52%	2月中旬	5月上旬
	静岡県	183%	84%	2月上旬	5月上旬
	愛知県	262%	82%	2月中旬	5月上旬
	岐阜県	258%	88%	2月中旬	5月上旬
	三重県	161%	83%	2月中旬	5月上旬
近畿	滋賀県	176%	63%	2月下旬	5月上旬
	京都府	131%	68%	2月下旬	5月上旬
	大阪府	183%	86%	2月中旬	5月上旬
	兵庫県	167%	89%	2月中旬	5月上旬
	奈良県	186%	68%	2月中旬	5月上旬
	和歌山県	132%	93%	2月中旬	5月上旬
山陽	岡山県	198%	84%	2月中旬	5月上旬
	広島県	227%	83%	2月中旬	4月下旬
	山口県	144%	81%	2月中旬	4月下旬
山陰	鳥取県	137%	67%	2月中旬	4月下旬
	島根県	124%	70%	2月中旬	4月下旬
四国	徳島県	197%	83%	2月中旬	4月下旬
	香川県	183%	86%	2月中旬	4月下旬
	愛媛県	179%	96%	2月中旬	4月下旬
	高知県	182%	93%	2月中旬	4月下旬

九州北部	福岡県	169%	86%	2月中旬	4月下旬
	佐賀県	149%	80%	2月中旬	4月下旬
	長崎県	189%	88%	2月中旬	4月下旬
	大分県	221%	86%	2月中旬	4月下旬
	熊本県	180%	97%	2月中旬	4月下旬
九州南部	宮崎県	167%	99%	2月中旬	4月下旬
	鹿児島県	134%	98%	2月中旬	4月下旬
全国		160%	72%	-	-

※平年:天候の平年は1981年～2010年の過去30年平均、花粉飛散量の平年は2011年～2020年の過去10年平均。

※飛散量:花粉観測機「ポールンロボ」が観測すると想定される花粉数。過去のポールンロボの観測データをもとに予想を算出。

※過去の飛散量について:シーズン終了後、ポールンロボの観測データをもとに、他機関のデータを参照して一部を見直しています。

◆参考:ウェザーニューズの花粉観測網について ～日本最大級の花粉観測網を展開!～

ウェザーニューズの「花粉プロジェクト」は、花粉症の方々の役に立ちたい!という想いで、2005年から実施しているユーザー参加型の取り組みです。全国のご家庭や企業などに、独自開発した花粉観測機「ポールンロボ」を約1,000台設置し、空気中に含まれる花粉をリアルタイムに自動観測します。

一般的な花粉観測方法では、ガラス板に付着した花粉を顕微鏡で数える「ダーラム法」が主流となっていますが、情報の更新に時間がかかるのに加え、1日単位での飛散量しか把握できません。

また、観測しているのは病院や自治体を中心ですが、観測拠点の

有無や分布については都道府県でバラつきがあり、観測情報が一般に広く公表されていない県もあります。

ウェザーニューズは、日本最大級の花粉観測網とこれまでの蓄積データを活かし、予報精度向上を目指すと共に、アプリの利便性を高め、花粉症の方が少しでも楽に過ごせるよう、サポートしていきます。



花粉観測機「ポールンロボ」設置イメージ